

来春就職へ企業に理解 八戸合同説明会、学生ら参加



企業の担当者から事業内容などの説明を受ける
学生=23日、八戸プラザアーバンホール

来春卒業予定の大学・短大生らと卒業後3年以内の既卒者を対象とした、青森県内外企業の合同説明会が23日、八戸プラザアーバンホールで開かれた。八戸地域の学生ら26人が参加し、事業や職務内容などの説明に耳を傾けた。

八戸公共職業安定所など、青森県南地方の各職安が主催。青森労働局管内では、本年度初の学卒関連ガイダンスとなった。新規大学等卒業予定者の採用選考解禁日が6月1日に変更されたことを受け、前年度から1カ月ほど前倒しして初めて5月中に開催した。時期が違うため単純に比較はできないが、参加者は前年度の93人から大幅に減

少。企業側も81社から46社に減った。学生らは各企業のブースを訪れ、人事担当者から事業内容などについて説明を受けた。

建設関係企業の担当者は取材に「ここ数年は新規大卒者の確保が難しくなっている。説明会を通し、うちの会社に関心を持ってもらえれば」と期待を込めた。八戸学院大4年の男子学生(22)は「第1志望は児童福祉系の職種だけど、ほかの県内企業の説明も聞いて自分に合った就職先を見つきたい」と話した。

(松原一茂)